

戸籍の窓

【10月 1日～10月31日 届出】

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
高岡	安部 雅晃 理香子	あい唯
萩野	梅津 幸治 愛美	こう航
広野	向田 智弘 美紀子	りひと
鮎貝	西村 幸 愛花	とあい
下山	奥山 健 里美	ひろ裕
鮎貝	三浦 信 高愛	あい華

おくやみ

住所	氏名	年齢
浅立	高橋京子	85
荒砥乙	大木みね	92
畔藤	菊地千枝	85
鮎貝	樋口辰郎	87
荒砥乙	江口貞美	89
荒砥甲	伊淵忠雄	102
広野	向田よし子	85
荒砥甲	小林貞子	81
鮎貝	遠藤昭次	80
鮎貝	内山キヨ	94
荒砥甲	後藤五一	88
畔藤	中村哲雄	92
畔藤	大木作男	83
高玉	金田なか	96
十王	松野しん	91
菖蒲	川村しん	90



旬の一枚

11月

しらたか旅先案内人さんによる
ワンポイントガイド

11月は新そばの季節

そば好きなら、たまらない新そばの季節がやってきた。8月初めに播いたそばの種はすでに勢いで成長し、1カ月で白い花が咲き、2か月後には緑色した三角の実がなり、すぐ黒い色に変わり、10月下旬には収穫の時期となる。この新そばの香り華やかな11月に、各地でそば祭りが行われ、来る8日はのどか村、15日は滝野交流館、21〜23日はあゆ茶屋、23日はパレス松風もりもりハウスで開催される。また、白鷹には、年中営業、冬季だけの営業、蕎麦打ちイベントなど多彩な蕎麦がある。



平 啓次 さん

白鷹には昔からそば打ち名人がいた。40年ほど前になるが、自宅を開放して冬季だけ営業していた十王の「松野そば」は特に有名であった。そして今、白鷹の蕎麦屋は、「隠れ蕎麦屋の里」として、そば好きたちに愛されている。

新しい視点で町おこし

11月1日、白鷹町浅立地区でハロウィンパレードが開催された。主催したのは「浅立はちまき隊」(13ページに関連記事)。地域の交流を深めることをねらいに、回覧板等を使ってイベントを呼びかけ、当日は子どもから大人まで約50人が参加、また55件の家庭にも訪問先として協力いただいた。「いろんなイベントを企画して町おこしをしたい」と語るのは、主催者の一人、梅津悠さん。白鷹町では今、新しい視点で地域を挙げた町おこしが始まっている。



表紙の写真

「日本の紅(あか)をつくる町」白鷹町にある紅(あか)いものを「SHIRATAKA RED」と名付けました。

紅花をはじめ、ミニトマトや赤すももわいん、りんごや今年誕生したミニトマトアイコのキムチ、おなかのあかいもみじ鮎や登り窯の炎など、白鷹の「紅(あか)」は町民の皆さんの手によってつくられています。

そう、だから「みんなで作る白鷹の紅(あか) シラタカ・レッド!」なのです。



▼だんだんと寒い冬が近づいてきました。寒くなると紅(あか)くなる皆さんのほっぺたも、実はシラタカ・レッドです。
▼皆さんの知っているシラタカ・レッド募集中です。ぜひ、教えてください。(てつか)

広報しらたかは再生紙を使用しています。